

今年度も引き続き、校長室から日頃の「雑感」をお届けいたします。昨年度は例年以上に数多くの生徒の皆さんが校長室に足を運んでくれ、大会報告や各種イベント案内など、様々なお話を聞かせてくれました。教育活動はもちろん、そうした生徒の皆さんとの談話等も交えながら綴ってまいりますので、ご笑覧いただけましたら幸いです。

**One for all, All for one. No.70**

### R6. 9. 3 「校内研修」

本校では、学校課題の解決や教員の資質能力の向上を目的に校内研修を定期的に行っています。今回は「宗教教育」について皆で研修しました。

本校は西本願寺派浄土真宗の宗門校として、石田學而氏（故人：僧侶）が創設し、仏教精神に基づいた「智育・徳育・体育」の実践に努められました。その建学の精神は今も受け継がれ「人柄の龍谷」として評価されています。

講師には、宗教教育を担当する 藤島 裕明 先生が引き受けてくれました。

阿弥陀如来（南無阿弥陀仏）、極楽浄土、他力本願、山号、宗派、み教え、教義、宗門、書物に至るまで、仏教の知識を幅広く学ぶことができました。

仏教精神は自らの内に目を向けるものと言います。この研修を通して改めて自らと対峙し、脈々と受け継がれてきた建学の精神に今一度立ち返りたいと思います。



**One for all, All for one. No.71**

### R6. 9. 5 「テニス部が秋季大会で善戦」

新チームのキャプテンとなった2年生 今井 陽貴君に話を伺いました。今井君は団体戦準優勝に加え、シングルスでは優勝、ダブルスでも2年生 中村 徹平君とのペアで準優勝と、素晴らしい成績を収めました。



「自分は、相手との駆け引きやそれに合わせて試合ごとに戦略を考える所にテニスの魅力を感じています。部員それぞれがテニスの魅力を見出し、試合を楽しめるようなチームづくりをしていきたいと思っています」と、まとめ役としての抱負を語ってくれました。

また技術的には、「個々のモチベーションが全体のレベルアップにつながります。チーム全体で『勝ちたい』という意欲を高めていきたいと思っています」と、地元旭川で開催される全道大会に意欲を見せてくれました。

皆様のご支援、よろしく申し上げます。

**One for all, All for one. No.72**

### R6. 9. 7 「地域貢献」

本校には、高齢者の安否確認や障がいのある人との交流、街頭募金、ゴミ拾いといった

ボランティア活動に加え、地域からの依頼に応じ行事協力などを行う「インターアクト」という活動があります。

部員は常に固定されているわけではなく、他の部活動と兼ね、日程や都合の良い時間帯に自主的に参加するという活動です。

今年は、8月下旬に旭川障害者スポーツ教室に招かれ、「モルック」教室の支援に参加させていただきました。モルックとは、フィンランドの伝統的ゲームを元に、1996年に同国で開発されたスポーツです。ピンを倒すところはボーリングのようで、交互に投げて点数を競ったり、得点を邪魔するところはカーリングやビリヤードにも似ています。



また、9月初旬には東光東陽町内会館での「とんとん村（子どもの遊び場づくり）」のお手伝いに参加させていただきました。地域の方々と共に小学校低学年40名程の子どもたちと一緒に遊び、談笑しながらおやつを食べてきました。

生徒たちも、こうした貴重な経験を通して寛容で豊かな心を育む素晴らしい活動です。

**One for all, All for one. No.73**

#### R6. 9. 7 「コース説明会」



特進コース説明会に、市内及び近郊から多くの中学生並びに保護者の皆様にご参加いただきました。心よりお礼申し上げます。

今回の説明会では、高校生活をより身近に感じていただくために、概要説明に加え、授業見学や座談会といった在校生と直に触れ合える場を設けさせていただきました。

司会進行や誘導なども在校生が行うことで、終始和やかな雰囲気の説明会を進めることができました。

高校生活を少しでも身近に感じていただき、龍谷での3年間がいかに充実したものであるかを伝えられていれば嬉しいのですが。

オープンスクールにも是非足を運んでくださいね。



**One for all, All for one. No.74**

#### R6. 9. 7 「秋のジョイントコンサート」

東旭川地域まちづくり実行委員会が協賛する「あさひやま 秋のジョイントコンサート」に、本校合唱部と吹奏楽部が参加しました。



市内小中高5校の吹奏楽部と合唱部に旭川青少年吹奏楽団が加わり、旭川小学校体育館を会場に、素晴らしい演奏を繰り広げ大勢の聴衆を魅了しました。

合唱部と吹奏楽部の皆さん、お疲れさまでした。

### R6. 9.11 「薬物乱用防止教室」

生徒自らが、依存性薬物を使用するきっかけそのものを除き、その誘因を避ける、あるいは拒絶することができるようになることを目的に、「薬物乱用防止教室」を体育館にて実施しました。

講師に、旭川刑務所教育専門官でいらっしゃる今井 貴裕 様をお招きし、「身近に潜む薬物の危険」と題してご講演をいただきました。

薬物というと、一般に覚せい剤や大麻を想起しますが、思春期に最も多いのは身近に手に入る市販薬や睡眠薬の過剰摂取です。決まった症状時に適量を摂取すべき薬も、異常に摂取すると心身に大きな害を引き起こします。



ルールを無視して服用すれば「乱用」、やがてなんでもなくとも摂取しなければ不安になる「依存」へ、そして最終的には幻覚や心身に異常をきたす「中毒」へと進んでいきます。

生徒の皆さんには、正確な情報に基づく基本的な知識を身に付け、健康な心身を維持することに努めて欲しいと願っています。

最後に、全生徒を代表し2年生の 武田 望来 さんが謝辞を述べてくれました。

### R6. 9.17 「インターアクト」

インターアクト部が特別養護老人ホームでの「敬老祭り」ボランティアに参加してきました。入居者の皆様が家族の方々と一緒に楽しめる催しが準備され、インターアクト部も運営協力ができることを楽しみにしていました。

今回は、主に受付や家族様の誘導、余興準備のお手伝いをさせていただきました。様々な催しにご家族と共に笑顔を見せる入居者の表情に、自身も幸せな気持ちになれると生徒は言います。

インターアクト部の取組は、いつも人の心の温もりや優しさ、幸福感を伝えてくれます。



### R6. 9.18 「彼岸会」

6校時に「彼岸会」の法要を執り行いました。

お彼岸とは、3月の「春分の日」と9月の「秋分の日」の各々前後3日間を合わせた計7日間を言います。「彼岸」は極楽を指し、その極楽は西方にあると経典で教えられ、極楽あるいは先祖をしのぶ日として定着しました。

ご法話では、宗教教育担当の藤平 竜多先生が「私が浄土を願うのではなく、浄土から私が願われている存在であることをお示してくださいました。その浄土からのほたらきかけがお念仏となり、明日をも知らないこの私を照らし、ほたらきかけてくださっているのです」と親鸞聖人のお言葉を用いて、「慌ただしい日々の中にあっても、この彼岸会を通して、自らのいのちの行く末について、しっかり向き合うことのできる時間を過ごしてください」と結びました。



**One for all, All for one. No.78**

### R6. 9.18 「立会演説会」

「彼岸会」の終了後、後期生徒会総務役員の立会演説会が生徒会主催で行われました。選挙管理委員会からの諸注意に引き続き、各候補者の推薦人並びに当該候補者の演説が順次行われました。どの演説にも、生徒会行事運営などへの積極的な意気込みが感じられ、全校生徒の代表に相応しい強いリーダーシップ魂が漲っていました。

その後、選挙管理委員により投票表紙が配付及び回収され、開票作業に移りました。

後期の生徒会行事も、体育大会をはじめ目白押しです。忙しい日々になるかと思いますが、生涯の思い出に残る活動にしてくれるものと大いに期待しています。

前期生徒会総務役員の皆さん、本当にお疲れさまでした。創造性豊かな取組と様々なチャレンジ精神は、新たな伝統を築きました。



**One for all, All for one. No.79**

### R6. 9.19 「新生徒会が発足」

昨日の生徒会総務役員選挙で、新たに会長になった2年生 武田 望来さんは唯一の前期生徒会総務役員経験者です。美術部とクイズ研究会を兼務しながら多忙な日々を乗り越え学校運営に携わってきました。



「アシスタントの皆さんと力を合わせ精一杯取り組んだ龍谷祭が印象に残っています。新しい生徒会もより良い雰囲気の中で、皆が楽しく支え合い、一人一人が精力的に取り組める環境づくりを目指します。また、端末を活用したアンケートや要望収集を積極的に行い、課題改善はもちろん、良好な環境維持にも努めます」と抱負を語ってくれました。

副会長になった2年生 福田 光哉君は

剣道部の部長も兼務します。「これまで生徒会の皆さんのお蔭で沢山の良い思い出を作ることができました。今度は、自分が在校生の良い思い出作りに貢献出来たらと思ひ立候補しました。同時に、この経験は必ず自分の成長にも役に立つと思っています」と、あえて忙しく大変な道を選んだ意思に敬意を表します。

同じく副会長の2年生 福田 しのさんはバドミントン部との兼務です。「生徒の皆さんの意見を反映しやすい環境づくりや、日頃の悩みなどを受け止められる窓口の設置も考えてみたいです。また、冬の健康管理を促す取り組みにも是非挑戦したいみたいと思っています」と、生徒会行事のみならず、新たな取り組みにも意欲を見せてくれました。

今回は代表して3名の生徒会総務役員の皆さんにお話を伺いましたが、どの言葉からも誠実さと強い意思が伝わってきて、とても頼もしく感じられました。

前期生徒会同様、素晴らしい生徒会の誕生を確信しました。

**One for all, All for one. No.80**

### R6. 9.27～ 「オープンスクール」



中学3年生の皆さんを対象にオープンスクールを実施しました。学校施設見学や体験講座を通して、中学生の皆さんや保護者の方々に少しでも本校の魅力を伝えられるよう、在校生とともに工夫あるおもてなしでお迎えしました。

吹奏楽、合唱、書道部のコラボによる歓迎セレモニー、各種学校行事の紹介、司会進行、生徒引率に至るまで、多くの在校生が責任をもって各々の役割を担ってくれました。

また、会場設営や後片づけも部活動の皆さんが手際よく行ってくれるなど、高校生としての頼もしい姿が随所に見られました。

中学生の皆さんには、数ある講座から関心のあるものを事前に選んでいただき、他校生と一緒に模擬体験をしてもらいました。

また、校舎見学では全教室に設置された大型エアコン、ICT設備が整った各講義室、木のぬくもりを感じさせる教室、ウォシュレット付の最新トイレ、広大なグラウンド、売店やイートインスペース、窓から見える自然豊かな景気などにも触れていただけたらと思っています。



**One for all, All for one. No.81**

### R6. 9.29 「スポーツミニフェスタ」

インターアクト部が、旭川障害者センター「おびった」で行われた「旭川市障害者スポーツミニフェスタ」に参加させていただきました。

この活動は、身体に障害を持たれる方々が運動競技を通じて体力の維持増進を図るとともに、障害者同士の親睦と協調精神を養い、もって明るい社会生活の発展に資することを目的としています。

本校からは6名の生徒が参加させていただき、競技進行のお手伝い、競技準備・後片づけ、障害者の介助など、運営の一部に携わりながら、障害を持たれる方々との親睦を深め合いました。



競技種目は「幸運ゲーム」「どんな景品かな?」「ゲーム体験レース」など工夫が凝らされ、生徒も一緒に楽しいひと時を過ごしました。

本校は「あいサポート（障がいを知り、共に生きる）運動」に積極的に取り組む人材の育成にも力を入れており、生徒も自主的に参加しています。

## One for all, All for one. No.82

### R6. 9.29 「社会貢献」

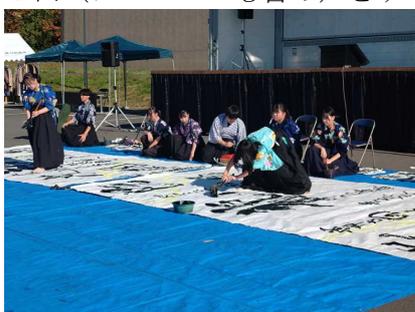
本校吹奏楽部と書道部が旭川刑務所主催の「旭川矯正展」に参加させていただきました。

好天に恵まれた上に、会場には様々な催しが数多く用意されており、朝早くから大勢の市民の方々に賑わいました。

3年生が引退し、新たなメンバーでステージに上がった吹奏楽部はやや緊張気味。それでも用意していた



5曲（アンコールも含め）をすべてを完璧にこなし、聴衆からは割れんばかりの拍手喝采を浴びていました。



午後から出場した書道部は圧巻のパフォーマンスを披露し、躍動的な大作の出来栄えに会場は感動の渦に包まれました。また、顧問の酒井 智章先生の実践を交えたミニ講義はとても分かり易く、老若男女を問わず誰もが頷いている様子がとても印象的でした。

本校の文化部はこうした地域の依頼に出来る限り応えるように努めています。地域の皆様に少しでも幸せな時間を持ってもらいたいという願いもありますが、生徒自身が社会貢献という体験を通して大きく成長してくれることも理由の一つです。

生き生きとした笑顔で、大きなエネルギーを多くの人に伝えることのできる生徒たちは本当に偉大です！

